

■ 会議概要

第8回鶴岡市歴史的風致維持向上計画推進協議会(書面開催)

◆出席者

佐藤滋委員、高谷時彦委員、野堀嘉裕委員、渡部幸委員、阿部博行委員、酒井忠久委員、粕谷典史委員、堀誠委員、渡邊勝委員、熊谷岳郎委員、増田亨委員、石塚健委員、佐藤潤到委員、稲泉眞彦委員、秋野公子委員、阿部良一委員、勝木正人委員

◆欠席者

なし

◆書面協議内容

1. 会長選出
2. 令和元年度進行管理・評価及び令和2年度以降における事業計画について
3. 中間評価について
4. 歴史的風致維持向上計画の変更について

◆書面表決内容

上記「書面協議内容」の1, 2, 3, 4について全て承認された。

◆回答書面におけるコメントの内容

委員

◆進行管理・評価シートへのコメント

- ・(p4 について) :
指定文化財は補助金交付対象となるが、指定文化財ではない団体で、伝承を希望するが現状では困難な団体への支援も考えなければならないと思う。
- ・(p17 について) :
文化財指定時と今とでは社会状況、家族状況も変わっており、変動の確認が急がれる。
また、未指定文化財でも、文化財としての価値があるものに対し、再度調査されることが望ましい。

委員

◆進行管理・評価シートへのコメント

- ・緻密な計画に従って実施していることを評価する。
- ・今後は、酒井家庄内入部 400 年記念事業、松ヶ岡 150 年記念事業との連携を視野に入れて進めていくことも大切である。

◆中間評価シートへのコメント

- ・「歴まち meeting」による建造物の公開イベントは、良い企画だと思う。例えば、建造物と花(菅家庭園のしだれ桜、井岡寺のしだれ桜)を見る企画など、様々工夫ができそう

だと考える。

- ・現在では消滅している建造物等の場合でも、サインを設置し、後世に伝える説明などがあってもよいのではないか。

委員

◆進行管理・評価シートへのコメント

- ・計画どおり進むことを祈念している。

委員

◆進行管理・評価シートへのコメント

- ・(p3 について) :

「史跡松ヶ岡開墾場保存修理事業」のみ計画どおり進捗していないことになるが、保存修理の内容を構造修理優先（意匠は2番目）と、防災設備設置工事とすると、計画(令和4年度完了)どおりに進捗するのか。

- ・(p5 について) :

ガイドブックの500部配布は素晴らしい。この点、東北芸術工科大学の中山ダイスケ先生が、「まず地元住民がそこで生き生きとしていることが第一。すると、それが広がりを見せ、いい循環になる」と言及していた。

- ・(p7 について) :

松ヶ岡でのこれだけ沢山のイベントに総称があったら、その総称を口にするだけでも楽しそう。今回はその中のどのイベントだろうと関心が深まる（高まる）と思う。

- ・(p10 について) :

「城下町つるおかりブランディングプロジェクト推進事業」について、「リブランディング：変える」というイメージより、「重ねる」というイメージの方が良いと思う。

◆中間評価シートへのコメント

- ・(p3「今後の対応」) :

状況把握に努め、所有者に歴史的建造物であることの認識と、保全活用する意識を高めてもらうことも必要と思う。

- ・(p4) :

「だだちゃ豆といえば鶴岡」のように、シルク振興についても、「シルクといえば鶴岡」と連想できる名前があったらいいと思う。

◆その他全般

- ・全事業とも、細かに着実に計画が進捗されていると思う。

委員

◆進捗評価へのコメント

- ・(p6)

「宿坊街まち並み保全及び修景整備促進事業」について、残り期間が2年となった。あと一步のところまできているので、2か年位の延長を願っている。

◆中間評価へのコメント

- ・ 建造物（伝統的建造物・修景整備した建造物等）についてのサインが必要であるとあらためて思った。
- ・ サインは実際にあるものの、バラバラなイメージを持たれてしまっている地区もあると思う。また、サインは独立したものより、その建造物の壁面に設置する方がベターと考える。

◆その他全般

- ・ 計画は順調に進んでいると思う。今年のような異常事態が起きた場合のことも考えておかなければならないと思った。

以上